



第 56 回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会

平成 28 年 5 月 7 日(土)～8 日(日) 福島県・泉崎国際サイクルスタジアム (周長 333.33mバンク)

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力: 福島県自転車競技連盟

協賛: 公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会
株式会社 パールイズミ フリヂェストーンサイクル株式会社

一般社団法人日本競輪選手会

Communiqué No.2

2016 年 4 月 20 日

チーフコミッサー 荒井純一

1. 男子ポイントレース・スクラッチのゼッケンについて

- 大会受付時に配布するゼッケンとは別に、ポイントレースおよびスクラッチでは、専用ゼッケン(プログラムのポイントレース頁、スクラッチ頁に記載の選手番号)を使用します。予選、決勝の各レース召集時に配布しますので、各レース参加選手は、間違い無ないように付けるようにして下さい。また、フレーム番号を配布するので、フレーム前方左側にテープ等で取り付けて下さい。

2. タイム計測種目の計時について

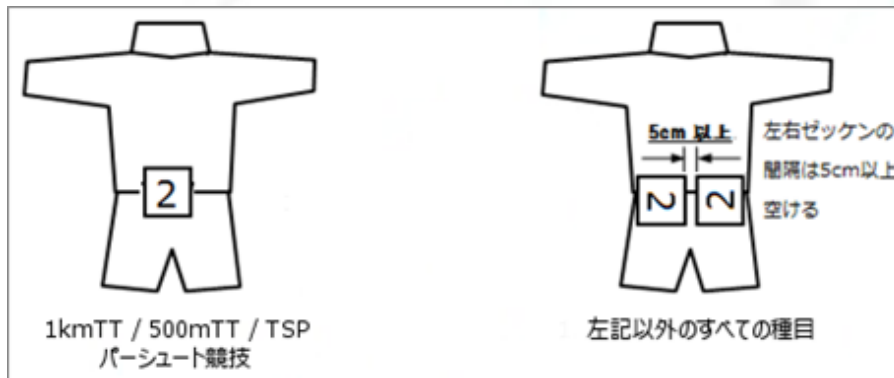
- 本大会では、タイム計測種目の計時に電子計時を使用します。各自出走順になりましたら、速やかに各自のペダル位置を合わせて、発走担当の役員へ自転車を渡して下さい。また、ウォーミングアップ、クールダウンの走行は、内側の練習用走路のみとします。また、競技場内よりタイム通知等ができるチーム員は1名のみとしますので、役員の指示に従って下さい。

3. レース出場選手の協力義務について

- 次の走者は、前のレース終了までには、スタート地点付近にて待機するようにして下さい。著しく遅れた選手、他の選手と同時にスタート位置に付けない選手は、レースから除外します。

4. ゼッケン位置、返却について

- ゼッケンの取り付け位置は下図の通りとする。なお、ゼッケンをつける際の安全ピンは各校にて用意して下さい。また、大会終了後は必ず各校まとめて、速やかに大会本部まで返却して下さい。なお、ゼッケンの紛失、未返却にはペナルティーを課しますので、十分に注意して下さい。



- 5. 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の、付加的な衣類または物は禁じる。(2016JCF 規則第 8 条 6 項)

- 6. トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。これに違反した競技者には警告を与える。(2016JCF 規則第 63 条)

7. 男子ポイントレース

- 予選 2 組、各組の上位 10 名が決勝に進出する。

8. 男子ケイリン

- 準決勝から、各組の上位 3 名が決勝に進出する。4 位以下の選手は 7 位～12 位決定戦へ回る。